

こんにちは 牛越です

【第153回】
新たな市議会が
スタート



大町市長 牛越徹

木々の新緑も日ごとに濃さを増し、衣替えの季節を迎えました。4月の市議会議員選挙で、市民の皆さまの期待を担い、4人の新人議員を含め16人の議員が当選されました。5月臨時市議会では、二條孝夫議長、太田昭司副議長はじめ、各常任委員会などの正副委員長および委員が選任されました。

議会は、二元代表制の下で、市民の代表として自治体の意思を決める議決機関であり、市政が円滑に運営されるためには、議会と執行機関が相互に対等の立場で、市民の負託に応え、市民の幸せの実現のために、一体となって取り組むことが何より大切です。

議会と首長の関係は、よく「車の両輪」と言われます。この意味は、二つの車輪が車軸で固く結ばれ、適切な距離を保つ適度な緊張関係だと私は考えています。そして、この両輪が市政の発展のために同じ方向に向かって滑らかに回転することが重要だと思います。

理事者側も、市民の皆さまの夢と希望の実現を担う車の両輪として、議会との連携をさらに緊密にし、活力と魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。

このたびの市職員によるセクシュアルハラスメント事案につきましては、市民の皆さまの信頼を損ねることとなり、ご迷惑とご心配をお掛けしました。深くおわび申し上げます。今後、信頼回復のため、職員一丸となって再発防止に取り組んでまいります。

第3回北アルプス国際芸術祭は、基本計画が策定され、会期を来年9月13日から11月4日までと決定されました。盛会裏の開催を目指して、より多くの市民の皆さまにご参加いただきますよう取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、3年余の間、甚大な影響を及ぼしてきました新型コロナウイルス感染症は、先月8日に2類から5類に移行しました。国のこれまでの基本的な方針が廃止され、個人の自主的な判断に基づくアフターコロナの経済・社会活動が始まります。新たな局面に、市民の皆さまも期待の一方で不安も残ることと思いますが、元気な大町を再生し、健康で安心して暮らせるまちづくりにしっかり取り組んでまいります。どうぞ皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。